



農政課題解決研修情報

農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)事務局 (連携普及部 連携普及企画室(担当:大島))
電話 029-838-7599

<研修実施状況>

○水稻の高温登熟障害対策技術

九州沖縄農業研究センター筑後・久留米研究拠点(福岡県筑後市)で9月18日~20日にかけて、12府県から13名の普及指導員の参加を得て標記に係る研修を実施しました。

本研修は、水稻の高温登熟障害の対策に向けた最新の栽培技術の習得を目的に、当センター、中央農業総合研究センター、近畿中国四国農研センター、秋田県立大学、農業環境技術研究所、福岡県農業総合試験場、鹿児島県農業総合開発センター、(株)ケツト科学研究所から12名の講師を迎え、高温登熟耐性に優れた新品種と耐性検定法、稲体温度の特性に基づいた水管理法や暖地水稻の安定生産のための肥培管理技術、白未熟粒および胴割れ米の発生抑制に向けた栽培技術および白未熟粒の発生予測技術、フェーンによる乳白粒発生メカニズムと水稻の水分状態計測についての講義および実演等を実施しました。

受講生からは「より多くの人に聞いて欲しいので、来年も継続してほしい」「充実した研修内容で大変勉強になった」や「米の品質に関わる様々な分野の話幅広く聞くことができたので知見が深まった」など、「大変良かった」が85%、「まあまあ良かった」が15%と良好な評価を頂きました。また、「より理解を深めるために、講師のパワーポイント資料を提供頂きたい。普及員だけでなく、JAの営農指導員にも受講の機会を与えて欲しい。」という意見も頂き、今後の充実した研修計画の立案に役立てていたいと思います。

本研修を受講いただきました普及指導員の方々のご活躍により早速、現場で「高温登熟障害対策技術」が活用されることを期待いたします。

(担当:九州沖縄農業研究センター 業務推進室 小園)



高温障害回避に向けた水管理法および稲体温度の測定法の実習



乳心白粒の多発を推定する装置の実演

○牛群の発情同期化技術

九州沖縄農業研究センター(熊本県合志市)で10月15日~17日にかけて、4県から4名の普及指導員等の参加を得て標記に係る記研修を実施しました。

本研修は、肉用繁殖牛の受胎率向上を図る繁殖技術習得を目的に、当センター、東北農業研究センターから3名の講師を迎え、牛の繁殖生理、繁殖実習(直腸検査)、発情検知技術(体温センサー及び乗駕許容センサー)、子宮機能評価についての講義および実習を実施しました。

受講生からは「同僚にも受講させたいので、来年度も開催してほしい」「繁殖は畜産経営の柱と言うべきテーマなので、今後も続けて欲しい」や「最高レベルの直検技術を拝見できて幸せでした」など、「大変良かった」が75%、「まあまあ良かった」が25%と良好な評価を頂きました。

また、「研修に関しては受講希望を出しているが、その時点での内容をもう少し詳しく提供して欲しい」、さらに「体温センサーや乗駕許容センサーは、現場レベルで生かせる可能性があるので、研究を進めて欲しい」という当センターでの研究のさらなる進展を期待するという意見も頂き、今後の充実した研修計画の立案に役立てていたいと思います。

本研修を受講いただいた普及指導員等の方々のご活躍により早速、現場で「牛群の発情同期化技術」が活用されることを期待いたします。

(担当:九州沖縄農業研究センター 業務推進室 小園)



講義の様子



繁殖実習